

情報伝達訓練及びワークショップの実施概要（案）

大規模災害発災に備え、「ブロック内連携マニュアル（以下、「マニュアル」）」に則った活動を演習するための情報伝達訓練と、ワークショップを実施します。

構成員が自庁舎内にてマニュアルに則った情報伝達訓練を実施し、発災時の対応を確認します。訓練後に対面でのワークショップを実施し、訓練での学びを整理します。

1. 情報伝達訓練

（１）日時

2024 年 10 月上旬（2 時間程度想定） ※日程等については別途ご案内します。

（２）場所

各構成員の執務場所（オンライン形式）

（３）実施内容

マニュアルの対応フロー（別紙）のうち、「情報収集」の手順を確認する訓練を行います。

①時間配分 (予定)	・開会、ガイダンス 20 分 ・訓練①：被災側の情報伝達 45 分 ・訓練②：支援側の情報伝達 45 分 ・総括、閉会 10 分
②役割分担	・参加者全員が、1 回目は支援側、2 回目は被災側として、複数グループに分け、グループ内での役割を振り分けます。 ・訓練対象は構成員のうち県及び市とし、民間団体、九州地方整備局及び沖縄総合事務局は参加しません。 ・有識者には訓練結果に対してコメント等をいただきます。
③構成員同士の 連絡方法	・Eメールまたはチャットツールの利用を想定しています。 ※利用可能ツール把握のためのアンケート調査にご協力をお願いします。

2. ワークショップ

（１）日時

2024 年 10 月中旬（2 時間程度想定） ※訓練後、1～2 週間以内の開催予定です。

（２）場所

博多駅近隣の貸会議室（集合形式）

（３）実施内容

訓練の振り返りや、簡易マッチング作業を通じてマニュアル等の見直し内容を検討します。

①時間配分 (予定)	・開会、ガイダンス 15 分 ・ワークショップ① 情報伝達訓練結果の振り返り 30 分 ・ワークショップ② 簡易マッチング作業、様式改善の検討 40 分 ・参加者自由意見・講評等 35 分
②班分け	・参加者を数グループに分けてワークショップを行います。 ・有識者にはご助言等をいただきます。

※「情報伝達訓練」と「ワークショップ」は同じ方の参加を想定していますが、ご都合があわない場合は、それぞれ別の方の参加となっても問題ありません。

※「ワークショップ」はできるだけ幅広いご意見・ご議論の場にできればと考えています。「情報伝達訓練」に参加できなかった方でも、「ワークショップ」は参加可能ということでしたら、ぜひご参加ください。

<別紙>ブロック内連携マニュアルにおける対応の流れ

■対応の流れ

